

令和3年度事業計画書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に社会全体が翻弄される1年となった。令和3年度は、姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)の開館と姫路市文化センターの閉館を控えた文化の節目の年である。これまでの事業実施の成果を踏まえ、社会情勢を注視しながら、各施設の特徴を活かし、幅広い年齢層を対象にした舞台芸術公演や市民参加型事業等の文化振興事業、経費節減や市民サービスの向上に努めた施設の管理運営業務を行う。

特に、姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)の開館記念として、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、NHK 交響楽団を招聘した演奏会、自主企画・制作による創作オペラ『千姫』(仮題)の初演、ディズニー映画や久石譲のジブリ作品の演奏会等、多彩な大型クラシック音楽公演を実施することにより、新しい文化のランドマークとしてのアクリエひめじを市民に強く印象付け、市民に芸術文化活動への参加を促すとともに、まちのにぎわい創出を推進する。

また、平成28年度から姫路市とともに推進する「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトを始め、日本の伝統芸能や演劇、演芸など、幅広い分野の事業を展開していく。中でも、令和2年に立ち上げた「姫路市ジュニアオーケストラ」「キャスパシアタープロジェクト」や、市内小学校へ出向いて楽器のワークショップを行うアウトリーチ事業、姫路市書写の里・美術工芸館における学芸業務や工芸教室などの普及・育成事業を継続して実施することにより、市民はもとより次世代を担う子どもたちや若い人たちが芸術文化に親しみ、感性や知性を育む機会を提供する。

国際交流事業においては、姫路市の国際化と地域ぐるみの国際交流事業を推進し、市民の国際交流への理解と関心を高め、諸外国との相互理解と友好親善を深め、さらに世界に開かれた魅力ある国際都市づくりを目指す。特に、在住外国人に向けた適時性のある情報発信と相談窓口の充実を図ると同時に、市民に開かれた講座やイベント、姉妹都市交流等の国際交流体験の提供を通して、アフターコロナの国際都市ひめじの環境醸成に努める。

上記以外にもさまざまな事業を展開することにより、文化芸術・国際交流の振興にとどまらず、観光、まちづくり、教育その他関連分野との連携を深め、市民の活力ある文化的な生活の実現に寄与する。

なお、予算書内訳表の事業区分は次のとおりとする。

- 公益目的事業1 (略=[公1]) 音楽・演劇等の公演事業
- 公益目的事業2 (略=[公2]) 文化振興のための育成普及事業
- 公益目的事業3 (略=[公3]) 博物館の企画展示事業
- 公益目的事業4 (略=[公4]) 文化施設の貸与及び管理運営事業
- 公益目的事業5 (略=[公5]) 国際交流事業
- 収益事業1 (略=[収1]) 管理運営施設等の物品販売事業
- 収益事業2 (略=[収2]) 文化施設の公益的目的外の貸与及び管理運営事業
- その他事業1 (略=[他1]) その他の文化・国際交流事業

I 文化振興事業

「育成」「普及」「鑑賞」「交流」の4機能を事業の柱として設定し、すぐれた舞台芸術の提供、地域文化の育成と支援、郷土文化の伝承と保存、芸術文化活動の振興と奨励、文化情報の収集と提供、文化団体や文化人の交流等の文化振興事業を以下のとおり実施する。

1 アクリエひめじオープニングシリーズ

播磨地域の文化交流拠点として開館する姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)のオープンを記念してハイレベルな大型公演事業を実施し、新しい文化の殿堂と姫路のにぎわい拠点の誕生をプロモーションするとともに、新施設のイメージアップを推進する。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	姫路市文化センターさよなら公演 第49回 姫路落語会 〔公1〕	R3.8.7(土) 【1回】	文化センター 小ホール	アクリエひめじ開館前のイベントとして、文化センターへのさよならと文化コンベンションセンターへの期待を込めて開催。文化センター開館当初から続く、桂米朝一門の豪華メンバーによる落語会。
2	こころの祭姫路 特別企画 市民文化講演会 〔公2〕	R3.9.16(木) 【1回】	アクリエひめ じ中ホール	市民文化の殿堂アクリエひめじの開館とこころの祭 姫路 30 回を記念して開催する文化講演会。参加者は一般公募。無料。 講師:ロバート・キャンベル(アメリカ合衆国出身の日本文学者。東京大学名誉教授。国文学研究資料館館長)
3	姫路藩の伝統芸能 能と狂言 〔公1〕	R3.9.18(土) 【1回】	アクリエひめ じ中ホール	アクリエひめじ開館を記念し、姫路藩主の嗜みであった能楽を、本格的な能舞台を設営して上演。姫路能楽会の協力で、「高砂」などめでたい演目で市民文化の殿堂の完成を祝う。
4	久石譲&日本センチュリー 交響楽団 姫路特別演奏会 〔公1〕	R3.9.19(日) 【1回】	アクリエひめ じ大ホール	日本の映画音楽を代表する作曲家久石譲と日本センチュリー交響楽団のコンサート。 久石譲のスタジオジブリアニメーション映画音楽とクラシックの名曲を演奏する。
5	鄭義信演劇公演 「青べか物語」 〔公1〕	R3.10.30(土) ~10.31(日) 【3回】	キャスパホー ール	姫路出身の劇作家、脚本家の鄭義信さんが「青べか物語」を下敷きに脚本、演出を務める。 はりま劇団協議会との共催で、プロ演者の出演に加え舞台制作、出演には地元播磨の劇団員が結集する、姫路にこだわった作品を上演。
6	ウィーン・フィルハーモニー 管弦楽団 姫路公演 〔公1〕	R3.11.5(金) 【1回】	アクリエひめ じ大ホール	世界3大オーケストラの一つであるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団が、アクリエひめじ開館を記念して、初の姫路公演。

7	紅白歌の祭典 〔公1〕	R3.11.13(土) 【1回】	アクリエひめ じ大ホール	姫路出身や姫路を中心に活動するアーティストが一同に介し、紅組、白組に分かれて歌合戦を繰り広げる。 出演者は、声楽、ミュージカル、ポップスなど多彩なジャンルから参加。
8	創作オペラ 千姫 〔公1〕	R3.12.11(土) ～12.12(日) 【2回】	アクリエひめ じ大ホール	播磨の姫君と呼ばれた徳川家康の孫千姫の生涯をドラマチックに歌い上げる創作オペラ。 玉岡かおる描き下ろしの小説をもとに財団芸術監督の池辺晋一郎が作曲。 出演は、全国的に活躍するソリスト以下、姫路や県下で活躍するアーティストを招聘するほかオーディションなどで市民参加を募り制作。 世界遺産姫路城のあるまち姫路から全国への情報発信を目指す。
9	ディズニー オン クラシック 〔公1〕	R3.12.25(土) 【1回】	アクリエひめ じ大ホール	だれもが知っている魔法の国の名曲の数々。 ディズニー・アニメーションやテーマパークの楽曲を、オーケストラと歌で届ける、夢と希望にあふれるコンサート。
10	N響姫路公演 〔公1〕	R4.3.13(日) 【1回】	アクリエひめ じ大ホール	日本を代表するNHK交響楽団の公演。 指揮、ソリスト未定
11	人形浄瑠璃文楽 〔公1〕	R4.3.20(日) 【1回】	アクリエひめ じ中ホール	ユネスコの無形文化遺産である文楽を、世界遺産のあるまち姫路の市民文化の殿堂開館記念として上演。 演目は「一谷嫩軍記(いちのたにふたぼぐんき)」。 公演前には文楽鑑賞教室も開催。

2 音楽のまち・ひめじ

姫路の街ににぎわいを創出すべく、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトを推進する。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	姫路市文化センターさよなら公演 第24回 姫路ジャズフェスティバル 地元ジャズ・バンド大集合 〔公1〕	R3.5.5(水・祝) 【1回】	文化センター 大ホール	地元アマチュアバンドが実行委員会形式により企画・立案、広報、チケット販売を行う。 出演＝メガトーンジャズオーケストラ、サンデー・サウンズ・ジャズ・オーケストラ、スイングキャッツ、兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部 他 計10団体出演
2	懐かしの洋楽ヒットパレード 〔公1〕	R3.5.27(木) R3.12.9(木) 【年間2回】	キャスパホール	元ラジオ関西DJの三浦紘朗が当時の世相などを織り込みながら進行する、オリジナル音源によるCDコンサート。

3	姫路市文化センターさよなら公演 播磨国吹奏楽団演奏会 〔公1〕	R3.5.30(日) 【1回】	文化センター 大ホール	吹奏楽講習会をリニューアル。 地元・関西を中心に活動している若手のプロ演奏家を集結させた「播磨国吹奏楽団」によるコンサート。 前日には西播吹奏楽連盟に加盟している吹奏楽部を対象に楽器講習会を開催し、さらなる吹奏楽の普及・向上を図る。
4	姫路市文化センターさよなら公演 親子のためのクラシックコンサート 「音楽の絵本」 〔公1〕	R3.9.4(土) 【1回】	文化センター 大ホール	子供のコンサートデビューにぴったり、凄腕の動物たちが活躍するクラシックコンサート。
5	姫路市文化センターさよなら公演 オオサカ シオン ウインド オーケストラ コンサート (共催) 〔公1〕	未定 【1回】	文化センター 大ホール	国内3大吹奏楽団の一つであるオオサカ シオン ウインド オーケストラ(旧大阪市音楽団)による音楽・吹奏楽の振興を図るコンサート。
6	池辺晋一郎芸術監督シリーズ 「音楽をのぞいてみよう」 第1回 モーツァルト 第2回 シューベルト 〔公1〕	R3.9.23(木・祝) R4.1.30(日) 【2回】	パルナソスホ ール	池辺芸術監督による、作曲家を題材に音楽の楽しみ方や若手プロ演奏家育成を兼ね備えた演奏会を企画。 クラシック音楽の入門編としてより身近に音楽に触れる機会を設ける。
7	篠崎史紀&姫路市ジュニア オーケストラが贈る クリスマスコンサート 〔公1〕	R3.12.19(日) 【1回】	パルナソスホ ール	NHK 交響楽団第一コンサートマスターの篠崎史紀をソリストに迎え、姫路市ジュニアオーケストラとクリスマスにちなんだプログラムを共演。
8	パルナソス 朝のハーモニー 〔公1〕	年 間 【6回】	パルナソスホ ール	第2土曜日の朝、家族揃って気軽に楽しめるコンサート。出演者は「姫路パルナソス音楽コンクール入賞者」や新進演奏家、地元音楽家などの申し込みにより決定。出演者独自の企画による舞台づくりにより、演奏家の育成を図る。

〔パルナソス育成普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第24回 姫路パルナソス 音楽コンクール	R3.5.15(土) 予選 R3.5.16(日) 本選 【2回】	パルナソスホ ール	将来性豊かな才能あるアーティストの発掘と、姫路地域における音楽活動の支援を目的とするコンクール。 審査員長は芸術監督の池辺晋一郎が務め、更なる音楽的レベルの向上と若手演奏家の活動支援の一助を目的に内容を変更し実施。
	第24回 姫路パルナソス 音楽コンクール受賞者演 奏会 〔公1〕	R3.10.17(日) 【1回】	パルナソスホ ール	コンクール受賞者と日本センチュリー交響楽団メンバーによる演奏会も実施。

2	ピアノスクール第20回記念 上田晴子×宮川知子 ピアノデュオ [公2]	R3.7.17(土) 【1回】	パルナソスホール	第20回を記念し、講師を務める上田晴子が、若手ピアニストとの師弟共演によりピアノアンサンブルの魅力を贈る演奏会。
3	上田晴子ピアノスクール 「マスタークラス」 [公2]	R3.7.18(日) ～7.21(水) 【4回】	パルナソスホール	講師は、上田晴子(パリ国立高等音楽院室内楽科教授・ピアノ科准教授)。ピアノのソロとアンサンブルの公開レッスン。技術面だけでなく、演奏家としての心構え、音楽性にまで踏み込んだ密度の濃いクリニック。
4	バロック in 姫路 [公1]	R3.11.23 (火・祝) 【1回】	パルナソスホール	大塚直哉(チェンバロ講座講師)とフラウト・トラヴェルソ奏者として古楽器オーケストラ「ラ・プティット・バンド」と共演する世界的に古楽器演奏をリードしてきたベルギーの名匠バルトルド・クイケン他による演奏会。

〔パルナソス楽器普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	オルガン振興事業 オルガンシリーズ Vol.8 オルガンシリーズ Vol.9 オルガンシリーズ Vol.10 オルガンレクチャー&ミニコンサート [公2]	通 年 R3.4.11(日) R3.9.26(日) R4.1.23(日) R3.7.11(日) 【各1回】	パルナソスホール	ホールのシンボルであるパイプオルガンの振興を図り「オルガン講座(通年コース(3クラス)、1日体験)」オルガン紹介イベント「オルガンコンサート」等を実施。 講師:長田真実(ホールオルガニスト)
2	チェンバロ講座 [公2]	通年	パルナソスホール	チェンバロの活用と普及のため、講師の大塚直哉(チェンバリスト、東京藝術大学教授)による「チェンバロ講座」、チェンバロ演奏に密接な関係のある「バロックダンス講習会」(講師=湯浅宣子)を実施。
3	はじめてのフルート教室 [公2]	通年	パルナソスホール	楽器を通して、音楽に触れる機会の提供を目的として、初めてフルートを演奏する方を対象にした教室。 村松フルート製作所の協力による。
4	アウトリーチ事業 [公2]	通年	市内小学校	小学生への音楽教育の一環として、楽器の音を生で聴くことにより、子供の情操教育の充実をめざし、感性を豊かに育むために実施し、地域文化の向上も図る。 「ポジティブオルガンのワークショップ」 パルナソスホールのオルガンをより身近に感じられるように移動可能な楽器(ポジティブオルガン)を活用。 講師はホールオルガニスト(4校予定)

〔交響詩ひめじ普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第32回「交響詩ひめじ」 合唱コンクール 〔公2〕	R4.2.6(日) 【1回】	パルナソスホ ール	市制100周年を記念して制作した「交響詩ひめじ」を歌い継いでいくための合唱コンクール。 (審査員＝池辺晋一郎(財団芸術監督、「交響詩ひめじ」作曲者)、洲脇光一(兵庫県合唱連盟最高顧問)、林裕美子(声楽家)) コンクールに先立ち、12月5日(日)には、池辺晋一郎による公開合唱ワークショップも開催。
2	「交響詩ひめじ」演奏会 〔公2〕	R4.3.6(日) 【1回】	パルナソスホ ール	「交響詩ひめじ」の普及を目的とし、2月の合唱コンクール受賞団体と、吹奏楽団によるジョイントコンサート。 お話:池辺晋一郎 指揮:未定 演奏:播磨国吹奏楽団

〔音楽のまち・ひめじプロジェクト〕

〔公2〕

市内各地において多彩な音楽事業を展開し、まちのにぎわいを創出するとともに、本市における次世代の音楽家を育成。また、音楽事業について、広く周知を図るため、季刊プログラムの発行やホームページで発信を行い音楽の力で姫路を元気にする。

令和3年度は、姫路城周辺施設での「ふらっとお散歩コンサート」などを企画。

〔姫路市ジュニアオーケストラ〕

〔公2〕

芸術監督池辺晋一郎の提唱により、幅広い年齢層の若者を対象に、オーケストラへの参加と活動を通して社会性や協調性を養い、姫路市の未来の音楽文化を担う人材へと育成することを目的として、令和2年8月に「姫路市ジュニアオーケストラ」を創設。

コンサートホールでの定期演奏会を始め、学校の体育館や地域のコミュニティセンターに出向いて行うミニコンサートなどにも挑戦し、地域の中で文化交流の輪が広まる活動を行う。

〔ル・ポン国際音楽祭(姫路国際音楽祭)実行委員会事務局業務〕

〔公1〕

市民の間にクラシック音楽を楽しむ土壌を醸成すること、芸術に触れることによる市民文化の振興、青少年の豊かな心の醸成を実現するとともに、姫路の魅力を世界に向けて発信することを目的として開催。平成24年から、赤穂国際音楽祭と共同で開催している。

3 市民文化高揚事業

演劇、古典芸能等の分野において、芸術性の高い鑑賞型の舞台公演を開催するほか、各種の振興事業を実施する。

〔演劇、古典芸能、大衆芸能〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	東京演劇集団風 「Touch」公演&舞台技術 講習会 〔公1〕	R3.7.16(金) ～7.18(日) 【公演2回/ 講習3コマ】	キャスパホール	1985年にシカゴで上演され、オフブロードウェイで絶賛を浴び、1987年には映画化もされた作品。公演と舞台の設営や照明・音響などを体験する講習会を実施。 出演・指導=東京演劇集団風
2	姫路市文化センターさよなら公演 「劇団四季 The Bridge ～歌の架け橋～」 〔公1〕	R3.7.24(土) 【1回】	文化センター 大ホール	劇団四季の「舞台への祈り」を名曲にのせて贈る華やかな新作ショー。
3	絵本の読み聞かせ 「絵本のじかんだよ！」 〔公1〕	R3.8.8(日) 【2回】	キャスパホール	NHK Eテレの子ども向け番組オフロスキー役でおなじみの小林顕作による絵本読み聞かせ公演。 出演=小林顕作
4	第30回 こころの祭 姫路 〔公2〕	R3.11.11(木) 【1回】	市内各所	姫路の隠れた文化をさらに掘り下げるため、自宅、神社、仏閣などを無料で開放していただく全国でもユニークな催し。公募制。
5	第30回 キャスパ寄席 〔公1〕	R3.11.20(土) 【1回】	キャスパホール	会館オープン当初から毎年開催している桂米朝一門の中堅、若手による落語会。 演目は、会場の雰囲気により決定。
6	2022文化交流 フェスティバル 〔公2〕	R4.3.18(金) 【1回】	姫路キャッスル グランヴィ リオホテル	姫路市芸術文化賞授賞式を予定。
7	キャスパシアタープロ ジェクト～U-25が挑戦する、 新しい演劇のカタチ～ 「かがみの孤城」稽古 〔公1〕	年間	キャスパホール	令和元年度まで実施されていた「高校生による演劇公演」の後継企画として令和2年度から新たに立ち上がったプロジェクト。 若い世代の人たちが文化に触れるきっかけや成長できる機会を創り、世界を広げていく場所とする。
8	文化事業連絡会 〔他1〕	年間 【2回】	県内文化会 館	近隣の文化会館との情報交換と交流や今後の連携公演などを計画。
9	友の会事業 〔他1〕	通年		財団事業の入場券販売促進を目的として設立した友の会の運営。また、他の主催者が行う事業のチケットの作成、販売業務を行う。

4 総合文化雑誌「BanCul」(バンカル)の発行 [公2]

「BanCul」を継続発行し、播磨の文化を全国へ向け発信する。季刊3, 300部

- ① 120号(夏号) 特集: 未定
- ② 121号(秋号) 特集: 未定
- ③ 122号(冬号) 特集: 未定
- ④ 123号(春号) 特集: 未定

5 「文化情報姫路」の制作 [公2]

姫路市とその周辺における舞台、美術、文学等の催物案内、情報を掲載した「文化情報姫路」を毎月制作し、市民に公開する。令和3年5月号から、ウェブサイトを通じたデジタルデータでの提供を行う。

6 文化活動への後援名義等の使用許可、助成等 [公2]

姫路市の文化向上に寄与すると認められる団体や個人が実施する芸術文化活動に対して、財団の後援名義の使用を許可するとともに、年間2回の公募を行い、審査のうえ、事業費用の一部を助成金として交付し、芸術文化活動の活発化を図る。

7 播磨学研究助成 [他1]

姫路市及び播磨地方の歴史、文化の学際的研究を推進するために、播磨学研究所が実施する各種の事業活動に対し、助成金を支出する。

8 女流王位戦助成 [他1]

女流棋士によって競われる将棋のタイトル戦、予選を勝ちあがった挑戦者との5番勝負の第1局を姫路に誘致、市民を対象とした大盤解説等を実施し、市民文化の向上と姫路市のPRに努める。

開催日=4月27日(火) 開催場所=夢乃井(大盤解説はキャスパホール)

9 第75回姫路市民文化祭 [公1]

交響楽、器楽、吹奏楽、合唱、バレエ、邦楽、舞踊、能楽、民謡、詩舞道、演劇、茶華道、俳句、盆栽など各分野で活躍する郷土の約240団体、約7,000人の参加を得て20の催物を開催し、日頃の練習成果を披露して市民に鑑賞してもらおう文化の祭典。

開催日=10月17日(日)~11月28日(日)

開催場所=アクリエひめじ、文化センター、キャスパホール、パルナソスホール、市民会館、勤労市民会館

10 芸術文化賞選考 [公2]

姫路市を中心に活躍、若しくは姫路市の芸術文化の振興に貢献した個人又は団体を顕彰するために、姫路市芸術文化賞の選考を行う。授賞式は、令和4年3月18日(金)に開催される文化交流フェスティバルで行う。

11 美術工芸館学芸普及事業

書写の里・美術工芸館において、企画展や体験教室などの学芸普及事業を実施する。

(1) 企画展 [公3]

NO	展覧会名	会期	内容
1	【春季特別展】 創作人形の世界 渡辺うめ人形展	R3.4.10(土) ～6.6(日) 50日間	渡辺うめ(1907-2014年)は青森市に生まれ、昭和19年に現在の兵庫県養父市八鹿町に移り、以後但馬の地で暮らした。昭和50年代から本格的に取り組んだ農民人形は現在でも根強い人気がある。 本展では、渡辺うめ作品を中心に、播磨で現在活躍する創作人形作家の特別出品とあわせて人形作品約70点を紹介する。
2	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 山口県の諸玩具	R3.4.17(土) ～8.26(木) 113日間	下関のふく笛、見島の鬼ようず、萩の夏みかん土鈴など約80点を展示。
3	【企画展】 播磨の工芸紹介 -青野武市のガラス工芸-	R3.6.12(土) ～6.27(日) 14日間	播磨の工芸紹介として、姫路市出身でグラヴィールと呼ばれる技法を駆使したガラス工芸作家の青野武市(あおのたけいち・1921-2011年)の生誕100年及び没後10年を踏まえ、人と作品を紹介する。
4	【所蔵品展Ⅰ】 生誕110年 清水公照す み・いる・つち	R3.6.12(土) ～9.5(日) 74日間	当館初代名誉館長で姫路市出身の清水公照(1911-1999年)は、奈良東大寺最高位の別当を務め「すみ・いる・つち」と題し書や墨画、泥仏(どろぼとけ)と呼ばれる陶芸作品を制作した。これらの中から名品を紹介する。
5	【夏季特別展】 夏休み子どもミュージアム ～鉄・刀・金工	R3.7.3(土) ～9.5(日) 56日間	主に夏休みの小中学生を対象に、工芸品の魅力をわかりやすく紹介する展覧会。シリーズ9回目となる今回は「鉄」「刀」「金工」をテーマに、日本刀の製作工程資料や写真パネル、材料の玉鋼、また金工分野の工芸品を展示し、その魅力に迫る。
6	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 愛媛県の諸玩具	R3.8.28(土) ～12.16(木) 92日間	松山の姫だるま、宇和島の牛鬼、野田の土人形など約80点を展示。
7	【特別展】 兵庫県工芸美術作家協 会 姫路展	R3.9.11(土) ～10.24(日) 37日間	県下で活躍する工芸作家「兵庫県工芸美術作家協会」は、公募入選作品を合わせ例年6月に神戸市で兵庫工芸展を実施している。本展はその姫路展として陶芸、染織、ガラス、皮革、漆芸、人形などの工芸作品約50点を展示する。
8	【秋季特別展】 日本やきもの旅-おすす め窯元めぐり	R3.10.30(土) ～12.24(金) 46日間	日本には様々なやきものがある。本展は館蔵品から姫路の「東山焼」をはじめ、日本各地の産地、窯元を写真パネルなどを使って、旅行気分で日本のやきもの鑑賞ができるよう展示紹介する。
9	【企画展】 はりこ絵付けコンクール展	R3.12.4(土) ～12.19(日) 14日間	姫路はりこのお面や人形に、参加者が自由に絵付けをしたオリジナルはりこのコンクール。募集作品を展示。

10	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 千葉県の諸玩具	R3.12.18(土) ～4.4.14(木) 90日間	芝原人形、佐原はりこの亀車、下総の首人形や天神など約80点を展示。
11	【新春特別展】 日本のガラス展	R4.1.6(木) ～3.6(日) 51日間	ガラスによる創作にかかわる人々によって日本で初めて創設された「日本ガラス工芸協会」が3年毎に開催し、15回目となる「'21日本のガラス展」(2021年9月～)の兵庫巡回展。新しい表現や技法に挑戦し続ける現代ガラス作品約100点を通してその魅力に迫る。今回は創立50年記念として功労者16名による特別出品も開催。
12	【所蔵品展Ⅱ】 生誕110年 公照コレクション名品展	R4.3.12(土) ～4.3(日) 20日間	1975年に奈良東大寺住職(別当)に就任した清水公照は、大仏殿大修理の傍ら、各地の窯元・工房を訪ね全国の工芸作家と親交を深めた。そこで収集したコレクションは多数に及ぶ。棟方志功「釈迦十大弟子」ほか、代表的なコレクションを館蔵品から約40点展示し、清水公照と交友を紹介する。
13	私のいっぴんギャラリー	通年	公募により、工芸分野の市民作品・コレクションを2週間ごとに一品(いっぴん=逸品)ずつ展示。

(2) イベント、各種体験教室の実施 [公2]

当館及び周辺施設への観光者の増加を図るため、自然豊かな書写山の魅力を発信し、関係団体と連携の上、季節を通じて各イベントを実施する。

- ① 書写山新緑まつりイベント 4月下旬～5月上旬
- ② 開館記念日(27年)イベント 7月4日(日)
- ③ 秋季の観光促進イベント 10月下旬～11月上旬
- ④ 書写山もみじまつりイベント 11月中旬

また、陶芸、染織、革細工、版画、工作教室など、見るだけでなく体験できる教室を通年で実施する。

(3) 伝統工芸の製作実演 [公2]

姫路の各伝統工芸の魅力を紹介する目的で、職人による製作実演を館内で実施する。

実演=姫路はりこ、姫路こま、姫山人形等の製作

実演日=土、日曜日、祝日(一部不定期)

(4) 常設展示や企画展示の付帯事業として図録等関連商品の販売を行う。 [収1]

II 国際交流事業

地域ぐるみの国際交流を推進し、多文化共生社会の実現を図るため、地域住民への国際教養の普及啓発、海外都市との友好交流、国際交流情報の収集と提供、外国人受入体制の整備及び在住外国人との交流などの事業を実施する。

1 地域住民への国際教養の普及啓発に関する事業 [公5]

(1) 国際交流ふれあい教室

在住外国人を講師に招き、講演や料理を通して異なる文化・習慣を持つ人々が地域に在住していることを知ってもらい、地域の国際化について考える機会を提供する。年3回実施予定。

(2) 国際理解出前講座

在住外国人や海外生活経験者を市内の公立小中高等学校や公民館等へ派遣し、スライドなどを用いた講演を通して、市民に国際理解を深める機会を提供する。年24回実施予定。

2 海外諸都市との友好交流に関する事業

(1) 友好親善事業 [他1]

姉妹都市等との友好交流を通して、市民間の交流、市民の異文化理解を図る。

- ① 海外からの来姫者対応(随時)
- ② 昌原市姉妹都市提携20周年記念訪問団派遣
- ③ 昌原市からの姉妹都市提携20周年記念訪問団レセプション
- ④ フェニックス市からの姉妹都市提携45周年記念訪問団レセプション

(2) 青少年交流事業 [公5]

姉妹都市でのホームステイを通して異なる文化を理解し、お互いの違いを認めながら共生できる次代を担う青少年を育成する。

① 青少年派遣

姉妹都市名	派遣者	人数	時期及び期間	
フェニックス市	高校生	4	7月～8月	2週間
アデレード市	高校生	5	7月～8月	2週間
クリチーバ市	高校生	5	7月～8月	2週間
シャンティイ城・シャルルロア市	中学生	8	7月～8月	10日間
昌原市	中学生	10	7月～8月	1週間
太原市	中・高校生	10	7月～8月	1週間
コンウイ城	中・高校生	5	7月～8月	2週間

② 青少年受入

姉妹都市名	受入者	人数	時期及び期間	
フェニックス市	高校生	4	7月	2週間
アデレード市	高校生	5	9月～10月	2週間
クリチーバ市	高校生	5	1月	2週間
昌原市	中学生	10	12月～1月	1週間
太原市	中・高校生	10	8月	1週間
コンウイ城	中・高校生	5	10月～11月	2週間

③ 派遣生 OB への活動支援(随時)

3 国際交流に関する調査研究及び情報の収集並びに刊行物の発行提供に関する事業

(1) 情報提供事業 [公5]

日本語を読んだり話したりできないことによる在住外国人の情報のハンディキャップを補うため、外国語放送・新聞では得ることのできない地域の情報(行政、教育、経済、社会、生活等)を母国語等で提供し、暮らしやすい環境づくりを行う。

種類	発行回数	内容
外国語生活情報誌 「VIVA! ひめじ」発行	年4回	在住外国人への最新生活情報提供。 6か国語(日・英・スペイン・ポルトガル・ベトナム・中国) ※また、編集ボランティアと翻訳ボランティアの意見交換、交流を行う「VIVAの集い」を年1回開催する。

(2) 外国語放送による情報発信 [公5]

FM Genki でベトナム語により生活情報等を提供する。毎週1回。5分程度。

(3) 機関紙等の発行 [公5]

機関紙及び海外姉妹都市青少年交流事業報告書により事業実施状況を報告する。

種類	発行回数及び部数		内容
機関紙「Hello! Himeji」	年1回	1,500部	活動報告及び会員便り。賛助会員等へ郵送、イベント開催時に配布。
機関紙「SHIRASAGI」	年3回	各400部	最新のイベント情報及びイベントレポート。賛助会員等へ郵送。
海外姉妹都市青少年交流事業報告書	年1回	1,500部	青少年派遣・受入学生の体験報告書。賛助会員、派遣生及び各学校等へ配布。

(4) 賛助会員への通知 [他1]

機関紙、イベントの案内等をダイレクトメールにより送付する。

(5) ウェブサイトの運営 [公5]

イベントの告知及び報告、在住外国人のための生活情報等をインターネットにより提供する。

4 外国人受入体制の整備及び在住外国人との交流に関する事業 [公5]

(1) 在住外国人のための日本語講座の開催

① 在住外国人のための日本語講座

地域や職場で必要な会話や生活習慣を学ぶために日本語学習の機会を提供し、言葉の面から生活支援を行う。初級6クラス、初中級1クラス、中級1クラス各20名。年3期(5～7月/9～11月/12～3月)各10回開催予定。

② 日本語ひろば・日本語ひろばキッズ

日本語ボランティアに活動の場・機会を提供し、生活に必要な日本語学習を希望する在住外国人の細かなニーズ(時間、レベル、目的)に対応した日本語学習支援を行う。

(2) 市民のための外国語講座

市民に、外国語を学習する機会を提供し、市民の異文化理解を図る。姫路獨協大学との共催事業。

(3) 日本語学習支援ボランティア養成講座

日本語ひろばや地域の日本語教室で活動する日本語学習支援ボランティアを養成するため、日本語指導ボランティアとしての心得や日本語教授法についての基礎講座を開催する。

(4) ボランティアステップアップ学習会

市民及び登録ボランティアを対象に、ボランティア活動の更なるステップアップを目指すための学習会を開催する。年2回実施予定。

(5) 外国人相談センター

多言語による生活相談を実施し、在住外国人の生活面での問題解決を支援する。

開催場所	曜日	時間	内容
市民相談センター (市役所1階)	月～金曜日	9時～12時、13時～17時	日本語、英語、フランス語
		13時～17時	ベトナム語
	火曜日	13時～16時	中国語、ポルトガル語、 スペイン語
城東町総合センター	火曜日	13時～17時	ベトナム語
高木総合センター	水曜日	13時～17時	ベトナム語
見野の郷交流館	木曜日	13時～17時	ベトナム語

※ 休日及び年末年始を除く

(6) 地域交流事業

地域で暮らす外国人と市民が、料理教室等のイベントを通して交流し、相互理解を図り、異なる文化を持つ人々が暮らしやすい地域づくりを促進する。また同様の事業を実施する団体に助成するほか、姫路市内で実施される国際交流事業に対して後援名義の使用を許可する。

(7) 国際交流フェスティバルの開催

各国料理模擬店、多文化共生を考えるワークショップ、各国民族舞踊音楽の紹介、世界の遊び、民族衣装やアポリジニアート体験などのイベントの開催を通して、市民の異文化交流・理解を図る。

開催日=10月24日(日) 会場=大手前公園

(8) 日本語スピーチコンテストの開催

日本語を母語としない在住外国人に日本語学習の成果を発表する機会を提供するとともに、市民に多文化共生社会について考えるきっかけを提供する。

開催日=2月20日(日) 会場=イーグレひめじ

5 国際交流関係団体の連携及び支援に関する事業 [他1]

事業名	対象者	内容
ボランティアの登録	一般市民	ホームステイ、通訳・翻訳、日本語指導のボランティアを随時受付する。
ボランティアによる事業推進	一般市民	ボランティアが主体的に企画・運営する事業について以下のとおり行う。 ①日本語学習に関しボランティアが学習者を支援する。また、学習者を対象にイベントを実施する。 ②情報誌作成に関しボランティアが企画・取材・翻訳・編集に携わる。 ※またボランティアは、海外姉妹都市青少年交流事業において、派遣時に研修アシスタント、青少年受入時に財団プログラムに参画する。

Ⅲ 施設管理運営事業

指定管理者制度の導入に伴い、制度の趣旨や公立文化施設としての使命を理解し、運営経費の節減に努めるとともに、利用者へのサービスに徹し、使用率、収支比率の向上を目指す。また、管理施設内において、前述のようなすぐれた舞台芸術の提供、市民参加型の事業等を実施する。また、安全対策のノウハウを蓄積し、施設利用者に安全性の高い施設を提供することにつなげる。

文化事業への貸出は、公益目的事業4。文化事業以外への貸出は、収益事業2で管理する。

1 姫路市文化センター(指定管理施設)の管理運営

- (1) 貸館事業(使用許可、使用料徴収事務、減免、還付事務)
適正、迅速な事務処理を行い、広報活動により使用率のアップを図る。
- (2) 管理運営経費の節減、光熱水費等の管理運営経費の経費節減に努める。
- (3) 広報活動の推進 ウェブサイトの更新、施設パンフレットの送付、顧客へのダイレクトメールの送付を行う。
- (4) 令和3年12月28日の閉館準備を進める。

2 姫路キャスパホール(指定管理施設)の管理運営

- (1) 貸館事業(使用許可、使用料徴収事務、減免、還付事務)
アンテナショップとして、適正、迅速な事務処理を行い、広報活動により使用率のアップを図る。
- (2) 管理運営経費の節減、光熱水費等の管理運営経費の節減に努める。
- (3) 広報活動の推進 ウェブサイトの更新、施設パンフレットの送付、顧客へのダイレクトメールの送付を行う。

3 パルナソスホールの管理運営

- (1) 貸館事業(使用許可、使用料徴収事務、減免、減免等事務)
適正、迅速な事務処理を行い、広報活動により使用率のアップを図る。
- (2) 管理運営経費の節減、光熱水費等の管理運営経費の節減に努める。
- (3) 広報活動の推進 ウェブサイトの更新、施設パンフレットの送付、顧客へのダイレクトメールの送付を行う。